

先人顕彰シリーズの展示

ふるさとの豊かな文化の礎と、すぐれた先人の遺徳を偲ぶ…

- | | |
|---|--|
| ◆第1次展示 H2.7-H3.6 | 瀬川清子 (1895-1984) 女性民俗学の大家 (毛馬内) |
| 杉山万喜蔵 (1907-1957) 地域医療に貢献 (尾去沢) | |
| 小田直樹 (1885-1959) 気品に富んだ作曲家 (花輪) | |
| 阿部直右衛門 (1873-1943) 鹿角の観光に新時代を築いた (八幡平) | |
| 阿部藤助 (1886-1928) 郷土の興隆に生涯を捧げた (八幡平) | |
| ◆第2次展示 H3.7-H4.6 | 小田島由義 (1845-1920) 郡長として殖産興業に尽くした (花輪) |
| 浅井小徳 (1875-1947) 俳人・大湯環状列石発見者 (大湯) | |
| 大里武八郎 (1886-1958) 日本行政学の創設者 (花輪) | |
| 大渡繁雄 (1872-1972) 名著「鹿角方言考」の著者 (花輪) | |
| 大渡繁雄 (1886-1976) 地域農業の近代化を促進 (八幡平) | |
| ◆第3次展示 H4.7-H5.7 | 阿部恭助 (1886-1928) 鉱山日記「阿津免草」の著者 (尾去沢) |
| 立山山次郎 (1867-1937) 郷土の産業と教育に貢献 (毛馬内) | |
| 川村訪治 (1871-1935) 育英会を創立した司法大臣 (花輪) | |
| 諏訪富多 (1883-1981) 地域産業文化の発展に貢献 (大湯) | |
| ◆第4次展示 H5.8-H6.7 | 田中北嶺 (1838-1918) 「戊辰戦役図絵」を描く (毛馬内) |
| 坂田祐蔵 (1878-1969) 関東学院設立と教育に献身 (大湯) | |
| 大里周次郎 (1884-1965) 町政に尽力した文化医師 (花輪) | |
| 栗山文次郎 (1886-1965) かつの古代茜、紫根染の大家 (花輪) | |
| 高杉重右衛門 (1889-1964) 地方行政農事に寄与・歌人 (尾去沢) | |
| ◆第5次展示 H6.8-H7.9 | 浅利佐助 (1844-1920) 醤油醸造業の基礎を築いた (花輪) |
| 宮城佐三 (1881-1951) 教育と地方自治に貢献 (花輪) | |
| 伊藤良三 (1883-1964) 教育と町政に尽くす (毛馬内) | |
| 立山山次郎 (1888-1918) 将来を囑望された天才数学者 (毛馬内) | |
| 阿部貞一 (1895-1950) 農村電化と観光事業の先覚者 (八幡平) | |
| ◆第6次展示 H7.10-H8.9 | 児玉高慶 (1888-1929) 武道を奨励し青少年を指導 (花輪) |
| 柴田春光 (1901-1935) 才能をうたわれた若き画家 (毛馬内) | |
| 阿部六郎 (1893-1974) 郷土文化の向上に貢献 (花輪) | |
| ◆第7次展示 H9.10-H10.9 | 内田武志 (1909-1980) 民俗学と菅江真澄の研究 (八幡平) |
| 豊田鋭太郎 (1873-1952) 秋田県教育振興に貢献 (毛馬内) | |
| 種市雲山 (1882-1945) スケールの大きい気骨の書家 (毛馬内) | |
| ◆第8次展示 H11.11-H12.10 | 高橋克三 (1888-1984) 湖南研究と地域先人の顕彰に尽力 (毛馬内) |
| ◆第9次展示 H12.11-H13.11 | 黒沢隆朝 (1895-1987) 音楽教育と音楽起源の研究 (花輪) |
| 大里健治 (1898-1978) 音楽、郷土芸能の振興に寄与 (毛馬内) | |
| ◆第10次展示 H13.12-H14.11 | 石田収蔵 (1879-1940) 北方民族研究の草分け (花輪) |
| ◆第11次展示 H14.12-H15.11 | 石川伍一 (1866-1894) 国益に殉じた生涯 (毛馬内) |
| ◆第12次展示 H15.12-H16.11 | 小松五平 (1891-1972) 鳴子旧系こけしを継承した名工 (大湯) |
| 川村薫 (1897-1976) 果樹指導と郷土新聞の草分け (花輪) | |
| ◆第13次展示 H16.12-H17.11 | 相川善一郎 (1893-1986) 彫塑・彫刻など文化活動に貢献 (花輪) |
| 馬淵テフ子 (1911-1985) 空駆けた女流飛行家 (八幡平) | |
| ◆第14次展示 H17.12-H18.11 | 川口月嶺 (1811-1871) 盛岡藩を代表する絵師 (花輪) |
| 泉澤織太 (1777-1840)・牧太 (1778-1855)・恭助 (1806-1870) 学問のお師匠様泉澤家 (毛馬内) | |
| ◆第15次展示 H18.12-H19.11 | 佐藤要之助 (1859-1892)・良太郎 (1878-1912) 鹿角りんごの礎を築いた父子 (花輪) |
| 佐藤良雄 (1906-1977) カザルスのチェロを日本に広めた (花輪) | |
| ◆第16次展示 H19.12-H20.11 | 小田島紳子 (1882-1969) 花輪俳談会を創立 (花輪) |
| 鎌田露山 (1891-1966) 毛馬内俳句会を設立 (毛馬内) | |
| ◆第17次展示 H20.12-H21.11 | 山先青山家の人々 山相家 青山の名を高めた 青山庄蔵栄重 |
| 山先川口家の人々 欧米の探鉱技術を学んだ 川口理仲太 | |
| ◆第18次展示 H21.12-H22.11 | 瀬川清子 (1895-1984) 女性民俗学の大家 (毛馬内) |

先人顕彰シリーズ ⑱

新しい文化を 築いた人たち

当先人顕彰館は、鹿角にゆかりの深い先人に関する資料の発掘収集・保存、事跡の調査研究と公開展示をしております。世界的な東洋史学者「内藤湖南」、

十和田湖の開発に尽力をした「和井内貞行」の

両氏をメインに常設展示し、

さらに各界の先覚者を順に展示紹介しております。

瀬川清子



鹿角市先人顕彰館 TEL 0186-35-5250
〒018-5334 秋田県鹿角市十和田毛馬内字柏崎3番地2

女性民俗学の大家



Kiyoko Segawa

瀬川清子

せがわ きよこ

1895-1984

明治44年小学校教員となり母校毛馬内小学校に勤務した。大正11年、当時「女も大学にはいれる」という新聞広告を読み、入学を決意、夫三郎、姑かつと共に上京し、東洋大学に入学した。卒業後私立川村学園、東京市立一中で教鞭を執った。

この頃から柳田国男に師事し民俗学の研究採集に没頭した。その後79才まで大妻女子大学の教授を勤めた。また84才の高齢まで、北は北海道から南は沖縄に至る山村・漁村を中心に調査の足跡を残した。民俗学の発展に尽くした功績は大きくエイボン社の女性教育賞、民俗学者として最高の柳田国男賞を受賞。

略歴 a brief personal record

- 明治28年(1895) 鹿角郡毛馬内、岩船源太郎、スケの長女として生れた。本名キヨ。
- 明治43年(1910) 毛馬内小を卒業。翌3月准教員試験に合格。母校の准訓導。大正4年同訓導。
- 大正6年(1917) 大湯村瀬川三郎と結婚。(三郎秋田師範を卒業、毛馬内小学校訓導。)
- 大正11年(1922) 家族と共に上京。東洋大学専門部倫理学科に入学した。
- 大正14年(1925) 東洋大学を卒業。私立川村学園に奉職。昭和2年東京市立一中に招かれ国漢の教師として昭和18年まで奉職。市立一中勤務のかたわら柳田国男に師事した。
- 昭和18年(1943) 大妻女子大学非常勤講師。昭和22年民俗学研究所評議員。昭和35年大妻女子大教授。
- 昭和55年(1980) アメリカエイボン女性教育賞。翌年柳田国男賞受賞。昭和59年2月20日没。享年88才。